

【参考－1】 北陸地方の地域特性

①人口・・・歯止めのかからない人口減少、少子高齢化

北陸地方では、人口が減少している都市が多く（76%）、全国平均以上の人口増が見られる市は3都市のみである。

また、今後の予測においても、全国の傾向を下回るペースで人口減少が想定され、高齢化率のさらなる上昇など、人口減少・少子高齢化が懸念される。出典：国勢調査（H27）

②DID・・・空洞化の続く DID

DID 面積は全国と同様増加しているものの、人口密度は減少を続け、全国平均を下回る人口密度となっている都市が97%を占めるなど、DIDの空洞化が顕著に表れている。

出典：国勢調査（H27）

③産業・・・懸念される地域の活力低下

商業については、商業販売額の増減率が全国平均よりも減少している都市が多く、地域の活力低下が懸念されている。特に人口1人当たりの年間商品販売額は、新潟市・金沢市以外は全国平均を下回っている。

出典：商業統計（H26）

④交通・・・自動車依存の強い交通状況

北陸地方の移動手段は、自動車利用の割合が約7割にのぼるなど、クルマ依存である傾向は、県庁所在都市以外の都市で特に顕著である。

出典：国勢調査（H22）

⑤住宅・・・持ち家率が高い北陸地方、空き家率が高い石川県の都市

北陸地方では、持ち家率が全国平均よりも高く、特に富山県の持ち家率が高い。また、石川県では特に空き家率が高いなどの状況がみられている。

出典：国勢調査（H27）、住宅・土地統計調査（H25）

⑥地価・・・バブル期以降も続落する地価

全国では地価は持ち直しの傾向にあるものの、新潟県、富山県においては横ばい傾向が続いている。しかし、金沢市が持ち直し傾向にあることから、石川県においては、持ち直し傾向がみられている。

出典：国土交通省地価公示（H28）

⑦気候・・・全域が豪雪地帯に指定される多雪地域

北陸地方は全域が豪雪地帯に指定されている多雪地域であり、冬期の雪の影響が大きい地域である。また、その中でも新潟県は特に多雪地域として挙げられる。

出典：全国積雪寒冷地帯振興協議会

⑧財政・・・深刻な財政状況

財政力指数について、全国の類似都市を下回る都市がほとんどであり、北陸の市町の財政力は厳しい状況にあることがうかがえる。

出典：市町村別決算状況調（H27）

DID内における人口密度の推移

○30/31 都市（97%）において DID 内の人口密度の推移（2014 年/1975 年）が全国平均を下回っており、まちなか区域の空洞化の進行がうかがえる。

DID 人口密度の推移（2014 年/1975 年）

